

令和2年9月14日

報道機関各位

熊本大学

熊本大学文書館 チッソ水俣病関西訴訟関係資料寄贈受入れ
覚書調印式のご案内

熊本大学文書館では、本学の歴史に関する資料に加え、社会的にも関心が高い水俣病や免田事件に関する資料の収集・保存・公開を行っています。このたび本学では、チッソ水俣病関西訴訟資料調査研究会（代表：小田康徳 おだやすのり 様／大阪電気通信大学名誉教授）およびチッソ水俣病関西訴訟を支える会（代表：庄野久子 しょうのすさこ 様）より、チッソ水俣病関西訴訟関係資料の寄贈を受入れることとなりました。寄贈受入れに関わる覚書調印式を9月15日（火）Zoom 上で行います。

時節柄、式後15：45～16：15のオンライン取材（熊本・大阪両者代表参加予定）での受付にはなりますが、取材方よろしくお願ひいたします。式の写真は当館より提供いたします。

本資料群は、1982年大阪地裁へ提起された国賠訴訟「チッソ水俣病関西訴訟」の原告（不知火海周辺地域からの移住者）、チッソ水俣病関西訴訟を支える会、チッソ水俣病関西訴訟資料調査研究会の横田憲一氏らによって作成・収集され、訴訟・調査研究・著作執筆に用いられてきたものです。横田氏もメンバーであった支える会が作成・収集・所有してきた関西訴訟関係資料が主であり、関連する運動団体関係資料も含まれます。2004年最高裁判決後、支える会の要請により資料整理・管理を担う調査研究会（資料保管拠点：大阪電気通信大学）が発足されました。本資料群の寄贈は、資料の永続的保管と整理・公開を望む支える会の了承を得た調査研究会より本学文書館に申請されました。関西訴訟原告と支える会の活動は、1995年政治決着を拒否し、国と県の法的責任、水俣病患者としての認定、そして被害への適正な補償を求め続け、環境庁による1977年判断条件とは異なる＜水俣病＞を司法の場で認めさせた点で事件史において大きな意味を持ちます。とりわけ、水俣病の病態について同控訴審判決では浴野成生の意見書が採用され、「メチル水銀中毒による感覚障害の原因は、主として大脳皮質が損傷されることにあると推認される」とされました。関西訴訟提起以降、原告らがどのように思考し活動を行ってきたのか、詳細な過程を解明し今後の＜水俣病＞調査研究に活かす上で極めて貴重な資料群です。

取材を希望される場合は、別紙連絡票にてご連絡いただきますようお願いいたします。当方より受付方法（Zoom リンク等）をご連絡いたします。

記

- 【日 時】令和2年9月15日（火）14：00～15：30 ※15：45より Zoom 取材受付
【会 場】熊本大学、大阪電気通信大学 ※Zoom で会場同士をつなぎます
【参加者】チッソ水俣病関西訴訟資料調査研究会代表（小田康徳）、チッソ水俣病関西訴訟を支える会代表（庄野久子）、大阪電気通信大学長（大石利光）、熊本大学文書館長（山田秀）、熊本大学文書館併任教員（慶田勝彦）、文書館（香室結美） 他

【お問い合わせ先】 熊本大学文書館 担当：香室（カムロ）

TEL：096-342-3951 FAX：096-342-3952 Email：archives@jim.kumamoto-u.ac.jp

【連絡票】

熊本大学文書館 チッソ水俣病関西訴訟関係資料寄贈受入れ
覚書調印式

| | |
|-----------------------------|------------------|
| 貴社名 | |
| 回答者 | 氏名 TEL FAX |
| 連絡欄 (当日 Zoom 取材 希望 等) | |

※期日が短く恐れ入りますが、9月 15日 (火) 10:00 までにご返信いただきますよう

お願いいたします。

熊本大学文書館宛

FAX 送付先: 096-342-3952